

# 令和6年度（2024年度）第3回熊本市教科用図書選定委員会

## 議事録

委員長	<p>議案 中学校教科書採択について協議します。</p> <p>本日は、技術・家庭科（技術分野）、国語、英語、道徳の4種目の教科書についての報告を受け、協議します。</p> <p>それでは、「技術・家庭科（技術分野）」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究記録員	<p>《技術・家庭科（技術分野） 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
副所長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>ここで確認したいと思います。「展示会の意見・報告」ですが、今年度は現在展示会が開催中なので、次回の選定委員会からは、昨年までと同様に冊子が配布された上で事務局からの報告があるということによいですね。</p> <p>それと、今年度から生徒さんの意見というのが入っていますが、これに関して少し事務局の方からご説明していただけたらと思います。</p>
副所長	<p>今年度、生徒の意見を聞きたいということで熊本市独自に工夫しました。</p> <p>まず、中学生の意見については、これまでも教科書展示会場で一般の意見と一緒に中学生も書けるようにはなっていましたが、一般の意見の中で中学生の意見が入っているのかということも明確には分かりません。それから中学生が非常に忙しい日常を過ごしているので、展示会場まで足を運んで意見を書くという子はどれくらいいるのか、非常に難しい。また、展示会場まで行く中学生はいないのかもしれない。あくまで中学生が使う教科書であるので、中学生はどういう感想を持つのか、意見を持つのかということ独自に調べたいということで、特設に一つの中学校に教科書を1セット置いて1週間、1、2年生を対象に意見を出してもらいました。3年生は来年度になるので、自分が使う教科書とはならないので、1、2年生は来年の自分たちが使う教科書を選ぶことになるので、そういう意味で1、2年生を選んで意見をいただくということをしました。</p> <p>これを教科書展示会としていいのか、県教委の方に問い合わせたところ、教科書展示会とすると、希望者が市民であれば、県民であればどなたでも参加していいという場所になるので、展示会という名称は使わないでほしいということでした。熊本市独自に展示会に似たような形で中学生の意見を聴取する一つの方法として、熊本市の工夫ということで会場を設置してよいということでした。ですから展示会場としては入れていません。</p> <p>ただ、そこで出た意見は、展示会場で出た意見と同様に扱っていいかを県に尋ねたところ、それは中学生が同じ条件の下で見た教科書についての感想なので、それは一般の意見と同様に扱ってよいという回答いただきました。正式な名称は展示会ではありませんが、展示会場の一つの工夫ということで中学生の意見を聞き取ったということになります。ただここで、人数的には先週の21日までの意見までしか集約ができておりませんので、他の教科に関して一応最後まで期間をまとめた上で、資料として来週第3回目から</p>

	ご提示したいと思っところでは。
委員長	今回は一つの中学校を選んで、試験的に実施しているということですか。
副所長	はい。ものすごく数が少ないというのと、一般に混ざり込むので明確に把握できるか分からないことから、試験的に実施しています。
委員長	ただ今回の生徒の意見として集約されるものは、試験的に実施している1校の生徒の意見だというふうに考えてよいですか。
副所長	そのとおりです。県内どこでもその会場に来た人が、意見を書くかどうか分からないですが、展示会に参加したら名簿に書くようになっています。そこにも中学生用の名簿を別に作って、熊本市会場だけ、小・中学生はその生徒・児童用の名簿に書くようにしています。ただ何名そこに来るかはまだ分からない状況です。27日、明日まで展示会場がありますので、そこが全て終わってから、その集計結果もご報告したいと思っところでは。
委員長	今回、技術に関しては、学校から10件、生徒から1件、意見があったということですか。
副所長	ありました。
委員長	今回の生徒の意見はどのような教科書に対してあったのですか。
副所長	1点、生徒からの意見はありましたが、ここに例として、特にここでお示した方がいいというものは取り上げていますが、内容については、この会が終わるまでに担当に聞いて、確認いたします。
委員長	分かりました。
副所長	中学生の意見なので、ここで紹介するまでもないというような意見も中にはあるので、どういうものがあったかというのは確認したいと思っます。
委員長	私の意見としては、熊本市として、せっかく試験的にそういうことを実施されているので、なるべくその生徒たちの意見はここで報告していただきたいと考えています。その生徒たちの意見というものを、しっかりと委員の方々に押さえていただいて議論をしてもらうということが新しいステップにつながると考えるからです。したがって、昨日は私がうっかりして取り上げることができませんでしたが、これからは生徒さんの意見があれば、なるべく報告してください。委員の皆さんが、その点に関してはいかがかというふうに考える時間をつくることも今後のためのワンステップになるんじゃないかなと思っましたので、これからはよろしく願っします。
副所長	来週お示しする展示会での意見の資料については、中学生は全ての意見をご紹介したいと思っます。ここで特にというのだけ今抜粋していますので、以上になります。 先ほどの、生徒からの意見の1点が分かりました。教科書会社ではなくて、全体に対する意見ということで、大まかには変わっていないけれども、図の

	書き方や文字の大きさが違って好みが分かれそうという意見でした。
委員長	<p>それでは、改めて協議をしていただきたいと思います。</p> <p>質問及び協議に入るので、ご意見があればどうぞ出していただきたいです。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私たちの頃、すごく昔ですが、昔と比べて技術が非常に変わってきたという感じを受けました。ニーズとシーズがありました。ニーズが必要とする人の求めているもの、シーズが問題の解決というか、解決のためにそれがどうなるんだということを子供たちに理解してもらっていくことはとてもいいことだと思いました。</p> <p>技術というと、私達の頃は、のこを使って本箱を作るとかですね。そういうものだったものが、今、ITとかいろんなものに技術はつながっていくんだというところまで見えてくるような感じになっています。昔のようにそこで終わってしまうのではなくて、今の生活につながる展開にはなっているというのを非常に感じたところです。</p>
委員	<p>先ほど一般の人からの意見ということで、専門でない人でもこの教科書が使いやすいだとか、教えやすいだとか、そういうことがあったかと思います。今の実態が私は分かりませんが、本当に技術がすごく進んでいて教えるのが大変だなというふうに思いましたが、そういう実態があるのでしょうか。</p>
研究員代表	<p>熊本市に関しては、免許外で教えている者はいませんので、免許を持った者が技術の授業を行っています。そういうところから研究会の方でも問題解決的な学習の授業づくりに努めているところがあります。何度も出てきましたが、ニーズ、シーズであるとか、問題解決的な演習の教科書が子供たちも使いやすいと捉えています。</p>
委員	<p>では、熊本市以外の実態が出ているのですね。</p>
委員長	<p>委員、この説明でよろしいですか。他にご意見はありませんか。</p>
委員	<p>これは記録には関係ないかもしれませんが。技術は1冊を3年間でするわけですね。自分が中学生のときは、男女別であったと思うのですと、時数とか、教えていただければありがたいです。</p>
研究員代表	<p>3年間で1冊使います。今はもう男女共修で、今はというか、ずっと男女共修になっています。1年生で70時間、2年生で70時間、3年生で35時間という授業の取扱いになっています。</p>
委員	<p>家庭科も同じですか。</p>
研究員代表	<p>そうです。</p>
委員	<p>2冊を3年間で実施するということですね。</p>
研究員代表	<p>そうです。2冊を、もっと言うと、技術35、家庭35で1年生、計70というつくりです。</p>

委員	<p>今の3年間でというと、途中で教科書が変わった場合どうなるのですか。選定してこれは5年間ですが、例えば5年目のときに1年生になった子は、教科書が変わった場合、2年、3年で変わりますよね。1冊の教科書を3年間で使うのであればどうなるのですか。</p>
研究員代表	<p>来年は新しい教科書が中1の子たちには入りますが、中2、中3は現行のままの教科書でいきます。学習指導要領では学ぶ内容は決まっていますので、学習指導要領が求めるもので授業をつくっていきます。教科書は変わってもやるべきことは変わらないので、やるべきことに合わせて授業を行っていきます。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
委員長	<p>他にご意見はありませんか。</p>
委員	<p>最後の評価の一覧のところ、今ご説明いただいた観点2①と③についての差はよく分かりましたが、他のところで差がついているところとしては、観点5の公共の精神と社会参画のところと、あと観点1の学習指導要領ですが、特にこの公共の精神と社会参画ですが、調査報告書を読んでも開隆堂のどこが優れていたかが分かりにくいので、ご説明いただいてよろしいですか。</p>
研究員代表	<p>観点5のところの公共の精神に関しては、情報モラルのところを特に取り上げています。開隆堂に関しては、まず割いている頁が他社二つに比べて量が多いというところ、また、開隆堂の教科書のつくり自体ですが、説明がとても詳しく丁寧であるというのが開隆堂の特徴です。      そういう視点から、観点5に関しては開隆堂のみ◎の評価をつけさせていただきました。</p>
委員	<p>開隆堂さんは頁数がまず多いというところがあるかと思いますが、その押さえるべき事項は大体全部どこも、2社も押さえてあって、東書は割と散発的に何回も出てくる感じがありますが、さっきのお話で3年間これを使い続けるということであれば、繰り返し別頁に分かれていると、子供たちは繰り返し学んでいきます。特にこの情報モラルに関しては、一度学んだからずっと一生というよりは、意識づけが非常に重要だと思います。そういう点では東書のやり方、繰り返し出てくるのもありなのかなと思いました。      確かに詳しく書いてあるのは開隆堂が一番詳しく書いてあるという点は納得しましたが。</p>
研究員代表	<p>研究員の調査としても、時代が刻々変わっていくので、今書いてある詳しい説明が、2、3年後、それが本当にそのままなのかという視点もありました。また、東書の本のつくり自体が問題解決型に全対応しています。内容が少ないからといってそれが駄目というわけではなく、学びやすさとか、内容に合ったという点では東書の方も評価できていると思っています。      以上です。</p>
委員長	<p>他にはご意見はありませんか。よろしいでしょうか。      調査の報告、ありがとうございます。</p>

	<p>研究員の方はご退出をお願いします。  まとめをします。各社、それぞれに特色がありますが、調査報告の内容は妥当であるということによろしいですか。  これで技術・家庭科（技術分野）の教科用図書について、協議を終了します。</p>
委員長	<p>それでは、「国語」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究記録員	<p>《国語 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>
副所長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>それでは、質問及び協議に入っていきたいと思います。</p>
委員	<p>質問・意見があったらどうぞお出してください。</p>
委員	<p>最初、生徒の実態として、課題の中に根拠を明確にして自分の考えを持つとか、何かを書くとかというところに課題があるということをおっしゃいました。また、最初の説明で意見文を書くあるいは根拠を明確にして意見文等を書く、題材についてのご説明がありました。質問ですが、ここで取り扱われている言葉が教科書によって若干違うと感じました。「主張」と表現してあるものもあれば、「意見」と書かれてあるものもあったり、その後、「事実」というところが「根拠」とかだったり、「理由づけ」などの言葉が各社によって異なるような気がしました。授業者からすると先生方のよく使われる言葉の統一感があるとよいと感じます。選定するにあたって何か引っかかる点や、整理されているところがあったらお聞かせいただければと思います。</p>
研究員代表	<p>国語の「意見」とか「主張」とかに関しては、教科で言い方が一つのものに統一されているということではありません。いろいろなアプローチの仕方を勉強されている先生ごとに、例えば三角ロジックだったら「理由づけ」というような言葉が出てきたり、他ではそういう言い方はしなかったり、「根拠」というような形だったり、「事実」をつけるというふうにしたたり、教科書ごとに違います。また、研究者の人たちごとに違っていて、それは先生方によって多分使われ方は現場でも違うと思います。</p> <p>現在、光村でやっていますけれども、それぞれの先生方で多分教科書とは違う言葉で授業をされていると思います。その辺はもしかすると子供たちが分かりにくいのかなとご質問いただいたので少し感じたところです。</p>
委員長	<p>委員いかがですか。</p>
委員	<p>ということは、採用した教科書に言葉を合わせていかれる場合もあるし、これまで使っていた言葉で子供たちの実態を踏まえながら、その先生の裁量で取り扱うということもあるということなのですか。</p>
研究員代表	<p>そうだと思います。現在でもいろんな言葉で使われていると感じています。</p>

委員長	他に、ご意見はありませんか。
委員	<p>観点1のところでは三省堂のご説明をいただいた付箋紙1のときに、おそらくこの付箋1のところの例の示し方が1年生にとってはちょっと難しいのではないかとご説明があったというふうに記憶しています。他社の◎のところは具体的な例が1年生に示してあるんじゃないかと思って見させていただいています。</p> <p>しかしながら、◎ということで行くと、そこを取ってみても目標は達成できると、意見としてそれは出ましたが、総合的に見たら、他社、二つ、東書と光村の◎と同じ効果が高いというところでの◎と受け止めてもよろしいのかというお尋ねです。</p>
研究員代表	<p>確かに一つの題材例としては分かりにくいかなというのがありますが、他のアプローチがとても分かりやすいので、教員側の補足で十分目標は達成できます。それ以外のアプローチがとても丁寧にしてあるというところで◎とさせていただきます。</p>
委員長	<p>他にはご意見はありませんか。保護者の委員の方々は、いかがですか。</p> <p>それでは私から確認させてください。最後に出てきた「観点別評価の一覧表」をもう一度見せてください。その中の観点6の「生命と自然」の箇所ですが、教出のみが◎ですが、これは非常に優れていたということですか。</p>
研究員代表	<p>教育出版はとても教材文等が多様で、種類もとても豊富で、他の3社に関しては説明文等での出てくるものでそんなにここが突出してという感じではありませんでした。教育出版に関しては、教材文も多様で多様にアプローチがしてあるというところから、一つだけ◎とさせていただきます。</p>
委員長	<p>他に意見はありませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>調査の報告、ありがとうございました。</p> <p>研究員の方はご退室をお願いします。</p> <p>まとめをします。各社、それぞれに特色がありますが、調査報告の内容は妥当であるということでもよろしいですか。</p> <p>これで国語の教科用図書について、協議を終了します。</p>
委員長	それでは、「英語」について、調査・研究結果の報告からお願いします。
研究記録員	《英語 調査・研究結果の報告》
委員長	続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。
副所長	《教科書展示会意見・感想報告》
委員長	<p>それでは、質問及び協議に入ります。</p> <p>質問・意見があったら出していただきたいと思います。</p> <p>現在は光村を使っているということですね。</p>
委員	<p>主体的な学びに関連するかもしれませんが、二次元コードとかも結構入っていて、子供たちが自分で学習したい、練習しやすいという特徴等を分かる</p>

<p>研究員代表</p>	<p>範囲でお願いしたいと思います。</p> <p>今画面に出ているように二次元コード、どの出版社も非常に充実しています。ただ全部を見たわけではありませんが、見てみると実写版の映像が出てくるもの、アニメでつづられているもの、英単語のワークシートだけが出てくるものなど、会社によって随分違う印象です。共通したもので見てみたいと思ひまして、単元の扉に出てくる二次元コードを読んでみたのを紹介します。</p> <p>例えば東京書籍ですが、単元の扉には単元を貫く問いと、内容に関する単元のゴール、単元のゴールの活動が明示されています。プレビューで見通しを立てやすくする、アニメで目的、場面、状況の確認ができるような工夫が二次元コードでなされています。</p> <p>開隆堂に関しては、見通しを持たせるような動画は扉にはありませんでした。</p> <p>三省堂についても、先ほどの東京書籍同様、二次元コードを読み込んで、資料動画、アニメーションなどを見ることで、本文の内容がどのようなものかを扉の段階からイメージできるような工夫があります。</p> <p>教育出版に関しては、扉にある二次元コードではその単元で新しく学ぶ単語リストが出てきて映像等は出てきません。</p> <p>光村については、予想、音声、映像の流れでストーリーの大まかな内容をつかめるような二次元コードが出てきます。今回の教科書の大きな特徴としては、二次元コードを読み込むとピクチャーチャートが出てきてタブレット上で自分で並べ替えて本文の内容を把握することができるということが研究員の中でも話題にもなりました。それがどの単元にも出てきます。最初に大まかな内容を捉えた後、その理解を自分で確認するためにタブレット上で絵を並べ替えられるという工夫があります。</p> <p>啓林館についてですが、啓林館もユニット全体の概要把握のためのリスニング、映像を確認ができるような二次元コードがついています。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど展示会の学校の意見であったと思いますが、光村はユニットが全部つながっていると。それが、3年間でユニットのつながりがあるのですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>ユニットがつながっているというか、ストーリーがつながっているということです。登場人物に心情を移入しながら読み深めていけるようなつながりがあり、ぼこぼこ違う話題が飛び飛びで出てくるのではなく、そのストーリーの展開において内容のつながりがあります。中学校1年生から3年生までずっとストーリー展開がつながっていくという意味です。</p>
<p>委員</p>	<p>他のところはそういうところはあまりないのですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>ありません。</p>
<p>委員</p>	<p>だからある意味ではそこは子供たちとして分かりやすいですね。心情移入しやすいですね。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>調査研究員代表の中でもそこは話題になって、現在使っている教科書の内</p>

	<p>容でも、例えば登場人物の初めのパートでこうこうこうだったよね、でもここでこうなっていたよね、みたいなことを研究員の先生方もわくわくしながら話をされたのはとても印象的でした。</p>
委員	<p>そうなんですね、すばらしいですね。</p>
委員	<p>全体的な質問ですが、wordとかでいうフォント、これはもう各教科書会社で自由なのですか。例えば語り言葉はこういうフォントとか、そういうのは申合せとかなくて、各教科書会社は自由ですか。</p>
研究員代表	<p>はい。例えば小学校の教科書と同じようなフォントで1年生の最初からユニットⅢぐらいまではそれで行き、徐々に変えていくというような工夫をしている出版社もありました。全体的にはとても見やすいフォントになっているという印象を受けています。</p>
委員長	<p>他にご意見はありませんか。</p>
委員	<p>調査結果というよりは全体的な話になりますが、展示会あるいは学校の意見、特に生徒さんの意見の中で、教科書のサイズの問題がかなり出てきていますよね。ところがこの調査の観点の中には教科書自体のサイズについてまでは直接的には評価していません。少し全体的な説明のところではレイアウトについてちょっと触れている部分はあったと思いますが、やっぱり現場あるいは子供たちにとって教科書のサイズというのは結構死活問題だなと。</p> <p>最近、どうしても教科書が大判化する傾向にあります。これは当然弱視のお子さんには、読みやすさという点で言えば大きい方がいい。私もだんだん老眼が進んできているので大きい方が助かります。ただ今、教科書が大判で、しかも机の上にノートと、あと筆箱と一緒にタブレットも併せて置くのに、机のサイズは変わらないから置場に困るよなど私は思うんです。他の教科は、特にさっきの国語は全部同じサイズだったので議論のしようもないところなんですが。英語はサイズが違うものが2社あり、コンパクトなものもあり、そのあたりをどう考えればいいのかと思います。調査の観点に入っていないから検討しないのかもしれませんが。</p>
研究員代表	<p>おそらくではありますが、ページが増えると厚くなります。だからページを減らすために大判にしている工夫が出版社にはあるのかと個人的には思いました。</p>
委員	<p>でもページはあまり変わらないですよ。サイズの小さい、教出と光村が175頁ぐらいでしょう。むしろ三省堂の方が一番大きいので、ページも多いので、レイアウトとか、サイズとかの調整でしょう。あとは中にどれだけ書き込むとか、写真をどれだけ使うかというところの関係だと思います。イラストが多ければいいというよりは、全体的な使いやすさで、生徒さんからすると意見があるかなと思ったところです。感想みたいなものですが。</p>
委員長	<p>保護者委員の方々には常に子供さんと接しておられるので、教科書の大きさや重さについては何かご意見はありませんか。それほどは感じておられませんか。</p>



委員	<p>1 点質問させていただきますが、先ほどのご説明の中に教科書の文字数、英語の単語数が、学習者の負担になるということが幾つか出ていました。主体的な学びを促す上で関連性もあると思いますが、深い学びを求めるためにはある程度の語数も必要だし、出版社ごとで取り扱っている語数について、研究員の中で話題になったことがあったらお知らせいただけますか。</p>
研究員代表	<p>語数に関してというよりも、頁に長文がばっと出てきて、それを一気に読まなければならないという設定になっていると、子供たちはうわっという感じになるだろうという話が出ました。長文は扱ってある、いっぱい扱ってあるけれども、途中途中でホワイユード、読んでいる途中でビ方ユードとか、アフターユードとか、読みの途中で問いがあること。それに対して考えて、次を読み進めてみるとか、読んでいる途中にヒントとなるような問いや写真とかがあれば、またそれを手がかりにして次を読みたいという仕掛けがあるかどうか。子供たちが長文もチャレンジして読んでみたいという気持ちになるポイントかなという気はしました。それは研究員の中でも話が出たところです。なので、学習指導要領はある程度のまとまった内容、英文をしっかりと読めるようにしなければならないという目標がありますが、そのための手だてがあるかないか、そこも今回、調査研究の○か◎かの判断材料に入れた部分でもあります。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど少し学習者の負担になるのではないかとおっしゃったところとは、その辺の工夫も含めての発言だったということでしょうか。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>それでは、私の方から一つお聞きしたいと思います。先ほどの生徒の意見の中に、三省堂は評判が悪くて、「大き過ぎ、その割には中身すかすか」というのがありましたが、その一方で「大きくて見やすい。」等の意見あるわけですね。だから教科書の大きさに関しては一概には言えないとも思いましたが、やはり適度な大きさというのはありますか。先生方からみて、最近の教科書は大き過ぎると思われませんか。</p>
研究員代表	<p>使ってみて大きいという印象はあまり持ったことはありませんが、実際に生徒が机に置いて学ぶときにやはり一回り大きいと大きいと思うのかもしれませんが。</p>
委員長	<p>教室の生徒が使う机の大きさに対してということですね。タブレットもありますからね。</p>
研究員代表	<p>はい。机上にはタブレットも置くことになります。</p>
委員長	<p>そうですね。あともう一つ、三省堂は、二つ目の視点である「深い学び」のところは○だったと思いますが、生徒としては「自分で考えるところが多い」という感想を持っています。生徒にとって自分で考えるということと、先生たちが生徒に求めている深い学びとは必ずしもつながっていないのでしょうか。私は実態が分かっていけませんので、その辺のところを教えてください。</p>

<p>研究員代表</p>	<p>今回、深い学びのポイントとしたところに内容的なつながり、単元に入ってからそのセクションごとの内容的なつながりがあるかどうかということと、構成に工夫があるかどうかということ判断基準にしましたが、例えば三省堂においては、単元のゴールではなく、学期のゴールにプロジェクトという活動があります。そのプロジェクトがそこまでの各単元とはあまり関連性がない、いきなりぽこっと出てくるようなプロジェクトが出てきて、コミュニケーションの目的や場面、状況の設定が非常に唐突であるという印象と、いきなりどんと出てくるものが難しいんじゃないかという意見。単元の最初、パートの最初で子供たち同士が英語でやり取りするようなスマールトークのトピック、シーン1のトピック、そしてその後に設定されているエクササイズに関連性や系統性があれば学びの連続性としてよい。そうなる◎になるという意見は出ていました。内容的なつながりの工夫が必要という判断をしています。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。 他にご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>二次元のことで、いろいろテーマがあったり、内容があったりそれぞれ違うということをおっしゃいました。今の先生方というのはすごくきれいな英語を話されると思いますが、私たちの頃は発音とかいろいろありませんでした。例えば二次元コードに飛ぶと、ネイティブの方が全部読み上げているとか、そういうことはあるのでしょうか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>そこはとても充実しています。教科書の中に出てくる二次元コードを読み込めば英文、音声もどの教科書も出てきます。今までであれば教科書とは別に例えばCDを買うとか、昔であればカセットテープを買って音声を聞いてということが必要でしたが、全て教科書とタブレットで事足りるというふうに、どの教科書も非常に充実していると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員、よろしいでしょうか。他にご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>観点の2の①と③について、今回絞った形でご説明いただいて、そこはとても比較が分かりやすく、本当にそうだなと思いながら見させていただいたところです。その二つの観点とは違って生命・自然環境のところは三省堂と光村が○。この調査報告書を見ても、いずれも内容的にはあると思いますが、ここの◎と○の基準。○が東書と光村で、気になるのは光村がそこだけ○ということです。東書の観点2の①はとても分かりやすかった。もしよければ生命・自然環境のその基準が量的なところなのか、各学年で出てきていないとか、何かあったと思います。もしご説明いただけるならお聞かせいただければありがたいです。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>取り上げてある内容はどこもすばらしく、本当は◎というところなのですが、今おっしゃったように量です。 例えば光村であれば、1年生では生命・自然環境を取り扱った単元がない、写真だけ一部自然に関する写真がちょこっと出てくるだけです。2年、3年になるとセバンスズキさんのスピーチであるとか、バーチャルサファリなのか、内容としてはとてもよいものがあますけれども、他社に比べても量が少ない</p>

委員長	<p>です。その判定で三省堂も同じように○と。生命・自然環境の内容の数が少ないということでの違いです。</p> <p>観点8の「人権教育」の箇所、教出だけが○ですが、これは何か理由がありますか。</p>
研究員代表	<p>調査報告書にも書いたところなのですが、2年生の教科書のワンワールド、2年生の113頁。      小さめの教科書の緑色のこちらの教科書です。</p>
委員長	<p>何頁ですか。</p>
研究員代表	<p>113頁です。      教育出版に関しては、例えばピクトグラムが1年生、介助犬、日米の手話の違いが2年生、パラリンピック、ス上デンの家事や子育てが3年生というふうに共生社会についての考えを深められるのにとってもよいと思っています。本当は◎にしたいところですが、1点だけどうしても気になることが研究員の中からも出ました。英文の中にある落語の話で、ゲス・ウィッチ・ウィル・ウィーン・アンド・ウィッチ・ウィル・ダイ・ナウ・イツ・ショータイム、あははと笑っている絵です。どっちが勝ってどっちが死ぬか、さあ、ショータイムの始まり始まりというふうな文面です。落ちはライオンも両者とも、虎も人間がかぶっているのどちらかが死ぬという落ちになっており、どちらかが動物と戦うということではないという落ちを考えるようになっている題材です。しかし、落語を教科書に載せるストーリーとしてどっちが勝ってどっちが死ぬかという文面を取り扱ったものは教科書にはどうなんだろう。そしてその場面を笑っている生徒のイラストも含めて、どうなんだろうというところから、◎にはできないという発想です。</p>
委員長	<p>失礼しました。ちゃんと報告書に記述がありますね。具体的にはこの2年生の113頁の箇所ですね。</p>
研究員代表	<p>その1点のみです。ここがなければ十分◎にできるだけの内容は取り扱われています。</p>
委員長	<p>分かりました。      他にご意見はありませんか。よろしいでしょうか。      それでは、調査の報告、どうもありがとうございました。      研究員の方はご退出をお願いします。      まとめをします。各社、それぞれに特色がありますが、調査報告の内容は妥当であるということによろしいですか。      これで英語の教科用図書について、協議を終了します。</p>
委員長	<p>それでは、「道徳」について、調査・研究結果の報告からお願いします。</p>
研究記録員	<p>《道徳 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いします。</p>

副所長	《教科書展示会意見・感想報告》
委員長	それでは質問及び協議に入ります。 ご意見はありませんか。
委員	道徳はノートが結構キーになるのではないかなど。小学校のときもそうでしたが、ノートがある方がいいという意見と、ない方がいいという意見があって、研究員の先生方の中ではこのノートをどう捉えられたのか教えていただいてよろしいでしょうか。
研究員代表	中学校の先生方の中では、ノートを毎時間活用されている先生方もいれば、どちらかというに使っていない先生の方が多いのではないかと思います。なぜならば、自分で授業をつくるのであれば、自分で使いやすいノートにしたいということで、ワークシートの活用の方が多いと考えています。
委員長	他にはご意見ありませんか。
委員	観点2の①と③の説明、とても分かりやすく聞かせていただきました。その中であえて黄色にはなっていませんが、観点2の②の対話的な学びで、子供たちがいかに他者と対話するかとはとても大事だと思います。◎と○が半々ずつぐらいあるので、そのポイントを聞かせていただけるとありがたいです。
研究員代表	対話の部分では、◎がついているのが東京書籍、光村、学研となっています。他のどの教科書会社も対話を仕組んではいますが、具体的な対話のモデルが示されている3社が◎と考えました。
委員長	今回の調査の観点2の③の深い学びの箇所が、◎なのは2社だけですが、説明があったようにこうした方がいいという形が多かったということによろしいでしょうか。やはり東書と光村に比べると他社は、改善すべき点があったということですね。 他に何かご意見はありませんか。
委員	教科書について知識がなくて申し訳ありませんが、中学校の先生は教科ごとに分かれていらっしゃるんですね。道徳は道徳の先生がいらっしゃるのですか。
研究員代表	道徳は基本的に担任の教師が行います。
委員	担任の先生ですか。ということは、中学校は教科ごとに分かれてはいますよね。教科に関係なく、どの教科の先生も道徳の授業をされるということですよ。
研究員代表	そうです。
委員	そうすると、先生方の熟練というか、もちろん年を取っていかれると熟練されるでしょうけど、教科としての専門性というよりも先生の間人性によるということになるのでしょうか。道徳が一番難しいですよ。教科書があつ

	<p>て、先ほどノートがあるよりも、先生方が自分でいい教科書をつくられた方が、自分の考え方があるからおっしゃっていましたよね。そうすると道徳というのは、すごく教科書も大事だし、ただ教科書の理解の仕方というか、把握の仕方というか、かなり違ってくるのかなと思います、その辺はいかがですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>確かに専門の免許はありませんので、ある意味どの教員も専門でないし、どの教員も専門であるとも言えると思います。例えばローテーション道徳とあって、1組の担任が、同じ教材の授業を2組の生徒を相手にする、という形で回るということもやっています。あとはチームティーチングとあって二人体制で授業を組む。例えば若い担任とベテランの教師が一緒にとか、また入れ替わってとか。管理職と一緒に授業をつくるとかということも現場では非常に活発に行われているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>非常に教科書は進化してきたなと思います。今、いじめの問題とかありますが、やっぱり戦後70年たって、戦争がなかったからずっと平和ぼけで来たところの中にこういう問題があると思います。同じ24時間をウクライナの人は、まず身の安全とか、自分の家族を愛するゆえに守るとか、自分の国を愛するゆえに守るとか、そういう大きな大義、道徳心で動いていると思います。同じ24時間、地球にいるというところを考えたら、日本は平和でいいんだけど、道徳の教科書の中に世界ではこういうことがあっているからこそお互いを尊重する道徳が大事だということを訴えた本があればいいな、という気持ちでしたところ。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>勤労観と職業観のところでは光村と日本教科書が○なんです、これは内容が他と比べれば少し薄いというか、充実していないということなのですか。具体的に教えていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私もそこが気になったところと、あと例えば観点4の勤労観、職業観、それから観点5の公共の精神、社会参画であるとか、観点6の生命・自然環境、観点7とかはそもそも内容項目にあるものなので、◎と○の違いが何なのかなと。そこが他の教科の教科書とはちょっと意味が違うようなところもあるかと思ったので教えてください。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>基本的に内容項目と一緒にあるので、実際には、どの教科書も工夫はされています。例えば観点4の勤労観・職業観のところですが、例えば光村は工夫されていますが、先ほどありましたが、生徒の興味をそそるような有名なスポーツ選手や動画クリエイターといった思わず考えてみたくなるような人物が少ないと思います。</p> <p>日本教科書の方は、取り上げられている職業がとても少なかったです。なので○にしました。</p> <p>観点5のところなんです、これはあかつきだけが○にしてあります。これは基本的に、例えば情報モラルに関してはどの教科書もととてもよかったです。ここで、もう一つが社会の形成者というところで、今、選挙の年齢も下がってきているので、選挙権に関わるような教材がないかなという視点で探しましたら、このあかつきだけがありませんでした。なので、その部分で一</p>

<p>委員長</p>	<p>つ下がったということになります。 よろしいでしょうか。</p> <p>それでは結局、その観点に関する見方を決めて調査した結果、選挙権は重要であるが、それについてあかつきだけが触れていなかったから○になったということですね。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>そうです。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。 他にご意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>ものすごく基本的なところなのですが、今ご説明があっていた深い学びというところで、東書と光村が◎、その下の観点3の補充的・発展的な学習で日本文教出版社さんに◎がついていますが、深い学びには○、この二つ関連しているような、していないような。この観点の違いが分かりにくいなと思いましたがいかがでしょうか。</p>
<p>研究記録員</p>	<p>深い学びの下の観点、補充・発展的な学習というところで、日本文教出版は◎がついています。この日文の◎というのは、頁の目次を見ていただくと分かりますが、とにかく補助教材が多いです。また、コラムも多いです。そういったところで子供たちが補充・発展的に学習する教材は多数そろえているということが日文の強みであるかなと思っています。</p> <p>深い学びにそこがどのように関わるのかということころは、先ほど観点2の③でお示したように、それが多面的に多角的につながっているのか、子供たち自身の生き方につながっているのかという観点に絞って見えています。この大きく四角囲みをしているところは道徳科の中学校の目標の一部です。こういったところを考えさせたい、考えを深めさせたいと思ったときに、ただたくさん教材をそろえているといいのかということではないと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>これは本当に質問ですが、現在は日文をお使いですね。使用した上で、もう少しこうした方が使いやすいとか、先ほど言われたノートとかは必ずついています。先生方が自分の授業をやりやすくするためには、かえって自分でノートをつくった方がいいと、先生たちからも意見が上がってきているということで理解してよろしいのですか。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>今の日本文教出版さんの教科書、とてもすてきな教材もたくさん入っています。別に使いにくいということではありませんが、例えば研究員の先生方から、教材名の右上に主題、テーマが書いてありますが、その主題と教材の中身が合っていないんじゃないかなという意見がありました。全部ではもちろんありません。ただ複数の教材について、そのような声が聞かれました。</p> <p>ノートに関して、実は本校はどのクラスもノートを使っています。なので、これは好みで使いやすいければ使うということですが、今回ノートの何が変わったのかというと、フリーの頁が減りました。つまり例えば熊本の郷土教材を使った授業をしようというときに、ノートが必要です。しかし今回、それを書き込むスペースが1頁しかありません、現行のものは何頁かあります。自作教材も使うので、使いにくさというところでは声は上がってきてい</p>

委員長	<p>ます。</p> <p>分かりました。他にご意見はありませんか。よろしいでしょうか。 調査の報告、ありがとうございました。 研究員の方はご退室をお願いします。 まとめをします。各社、それぞれに特色がありますが、調査報告の内容は 妥当であるということによろしいですか。 これで道徳の教科用図書について、協議を終了します。</p>
-----	---